

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 キムラ

コード番号 7461 URL <http://www.kimuranet.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木村 勇介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 新榮 功明

TEL 011-721-4311

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	14,612	1.6	1,024	26.0	1,016	29.1	470	27.9
25年3月期第2四半期	14,377	△0.4	813	△0.4	787	0.3	367	8.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 649百万円 (38.5%) 25年3月期第2四半期 468百万円 (9.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	31.72	—
25年3月期第2四半期	24.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	17,827	9,147	43.6
25年3月期	17,806	8,646	41.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 7,773百万円 25年3月期 7,415百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,080	3.2	1,480	8.8	1,435	8.5	680	12.2	45.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	15,180,000 株	25年3月期	15,180,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	345,128 株	25年3月期	343,692 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	14,835,210 株	25年3月期2Q	14,836,385 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想等の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

- ・四半期決算補足説明資料は平成25年10月25日に当社ホームページに掲載いたします。

[ 添付資料の目次 ]

1. 当四半期決算に関する定性的情報

- (1) 経営成績に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (2) 財政状態に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明・・・・・・・・・・ 3

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・・・・ 3
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・・・・ 3
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・・・・・ 3

3. 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6  
四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書・・・・・・・・・・ 8
- (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)・・・・・・・・・・・・・・・・ 10  
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)・・・・・・・・ 10  
(セグメント情報等)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権が推進する経済政策や大胆な金融政策を背景として着実に回復基調が見られてきております。しかし一方で、株価の変動、長期金利上昇等の不安材料もあり、先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような状況における当社グループの業績は、卸売事業においては、低金利の継続や景況感改善を背景に新設住宅着工戸数は回復傾向が続いております。また、来年度以降の消費税増税における先高感による前倒し購入も住宅需要に影響しており、加えて既存住宅へのリフォーム需要も増加するなど住宅資材の市場は活況に推移しております。

小売事業においては、消費の低迷、競合店のオープンなどホームセンター業界内の集客・販売競争は激しさを増してきております。そのような経営環境の中、他社との明確な差別化を図るための品揃えに注力すると共に、来店していただけるお客様に安心、安全、快適に買い物をしていただける売場環境造りに努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高146億12百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益10億24百万円（同26.0%増）、経常利益10億16百万円（同29.1%増）、四半期純利益4億70百万円（同27.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## (卸売事業)

住宅市場が活況に推移する中、塗り壁材AZウォールなどの当社オリジナル・ブランド商品のPR・販売活動や物件獲得のための工務店に対する積極的な提案営業および改正省エネ法等の時流に即したセミナーを開催して取引先との関係強化のための施策を継続的に実施しております。また、既存住宅リニューアル・リフォーム市場への営業を強化してきた結果、売上高は59億18百万円（前年同期比9.1%増）、営業利益は5億82百万円（同11.9%増）となりました。

## (小売事業)

春先の低温、天候不順や大型競合店の出店などのマイナス要因はありましたが、仕入原価の低減努力と過度な価格競争を是正してきたことが利益率の改善となり、また、経費の削減に努め販売費及び一般管理費の削減を行ってきた結果、売上高は82億95百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益は5億17百万円（同35.4%増）となりました。

## (不動産事業)

保有する不動産の運用により、売上高は1億3百万円（前年同期比13.3%減）、営業利益は65百万円（同3.3%増）となりました。

## (足場レンタル事業)

新設住宅の着工や既存住宅のリフォーム需要が伸びる市場状況において、施工現場の増加に伴う職人不足や資材不足が発生し、足場架け工事が1ヶ月以上の待ち状態となるなど、多くの機会損失が発生する状況ではありましたが、石狩ヤード、恵庭ヤードの資材および施工班がフル稼働状態で現場対応を行ってきた結果、売上高は2億95百万円（前年同期比10.0%増）、営業利益は48百万円（同9.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は178億27百万円となり、前連結会計年度末に比べて20百万円の増加となりました。これは主に、現預金8億4百万円の減少はありましたが、売上債権が8億65百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は86億79百万円となり、前連結会計年度末に比べて4億80百万円減少しております。これは主に、仕入債務は8億39百万円増加しておりますが、借入金が9億95百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は91億47百万円となり、前連結会計年度末に比べて5億円増加しております。1株当たりの純資産は524円となり、前連結会計年度末に比べて24円21銭増加しております。

なお、自己資本比率は43.6%（前連結会計年度末は41.6%）となりました。

② 連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年同四半期連結会計期間末に比べ6億8百万円減少して19億17百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果による資金の増加は、4億16百万円（前年同四半期は8億29百万円の増加）となりました。これは主に、売上債権が8億57百万円増加しておりますが、税金等調整前四半期純利益10億32百万円と仕入債務が8億39百万円増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果による資金の減少は、40百万円（前年同四半期は14百万円の増加）となりました。これは主に、賃貸用不動産の建て替えに伴う39百万円の支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果による資金の減少は、11億80百万円（前年同四半期は7億48百万円の減少）となりました。これは主に、9億95百万円の借入金返済と1億48百万円の配当金支払に伴う支出があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成25年7月29日付「平成26年3月期第1四半期決算短信」において発表しております連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	2,727,853	1,923,513
受取手形及び売掛金	1,541,443	2,406,874
商品	2,270,775	2,505,477
販売用不動産	164,160	158,172
その他	313,528	301,866
貸倒引当金	4,759	7,146
<b>流動資産合計</b>	<b>7,013,001</b>	<b>7,288,758</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	4,889,604	4,714,837
土地	2,405,789	2,405,789
その他(純額)	2,170,889	2,147,061
<b>有形固定資産合計</b>	<b>9,466,284</b>	<b>9,267,688</b>
無形固定資産	12,413	13,208
<b>投資その他の資産</b>		
その他	1,330,427	1,265,133
貸倒引当金	15,322	7,263
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>1,315,104</b>	<b>1,257,870</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>10,793,802</b>	<b>10,538,767</b>
<b>資産合計</b>	<b>17,806,803</b>	<b>17,827,525</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	1,739,925	2,578,943
短期借入金	2,460,000	1,820,000
未払法人税等	392,152	368,436
賞与引当金	99,500	132,308
その他	608,529	604,253
<b>流動負債合計</b>	<b>5,300,107</b>	<b>5,503,941</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	2,385,000	2,030,000
退職給付引当金	258,291	260,355
役員退職慰労引当金	326,985	37,730
資産除去債務	224,408	226,674
その他	665,134	621,045
<b>固定負債合計</b>	<b>3,859,819</b>	<b>3,175,805</b>
<b>負債合計</b>	<b>9,159,927</b>	<b>8,679,747</b>

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	793,350	793,350
資本剰余金	834,500	834,500
利益剰余金	5,729,069	6,051,298
自己株式	131,764	132,206
株主資本合計	7,225,154	7,546,941
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65,346	101,092
繰延ヘッジ損益	2,328	1,475
土地再評価差額金	126,906	126,906
その他の包括利益累計額合計	189,925	226,523
少数株主持分	1,231,797	1,374,313
純資産合計	8,646,876	9,147,778
負債純資産合計	17,806,803	17,827,525

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	14,377,655	14,612,521
売上原価	10,886,003	11,023,232
売上総利益	3,491,652	3,589,289
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	1,022,876	992,425
賞与引当金繰入額	137,500	132,308
退職給付費用	18,440	16,940
貸倒引当金繰入額	-	2,025
その他	1,499,658	1,421,180
販売費及び一般管理費合計	2,678,474	2,564,880
営業利益	813,177	1,024,409
営業外収益		
受取利息	326	333
仕入割引	38,914	42,723
貸倒引当金戻入額	7,344	-
その他	14,708	24,845
営業外収益合計	61,292	67,901
営業外費用		
支払利息	44,184	32,248
売上割引	31,612	34,329
デリバティブ評価損	4,602	3,599
その他	6,842	5,750
営業外費用合計	87,242	75,928
経常利益	787,227	1,016,383
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	-	20,000
保険解約返戻金	21,785	-
受取補償金	18,802	-
特別利益合計	40,587	20,000
特別損失		
固定資産除売却損	2,077	3,392
投資有価証券評価損	17,170	-
特別損失合計	19,248	3,392
税金等調整前四半期純利益	808,566	1,032,990
法人税、住民税及び事業税	394,107	345,709
法人税等調整額	49,872	74,996
法人税等合計	344,234	420,705
少数株主損益調整前四半期純利益	464,331	612,284
少数株主利益	96,340	141,691
四半期純利益	367,990	470,592



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	464,331	612,284
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,660	35,751
繰延ヘッジ損益	1,981	1,671
その他の包括利益合計	4,641	37,422
四半期包括利益	468,973	649,707
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	371,694	507,191
少数株主に係る四半期包括利益	97,278	142,515

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	808,566	1,032,990
減価償却費	257,887	242,797
退職給付引当金の増減額(は減少)	4,662	2,063
賞与引当金の増減額(は減少)	33,862	32,808
貸倒引当金の増減額(は減少)	7,419	5,672
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	-	20,000
受取利息及び受取配当金	3,030	3,422
保険解約返戻金	21,785	-
受取補償金	18,802	-
支払利息	44,184	32,248
デリバティブ評価損益(は益)	4,602	3,599
その他の営業外損益(は益)	596	-
固定資産除売却損益(は益)	2,077	3,392
投資有価証券評価損益(は益)	17,170	-
売上債権の増減額(は増加)	784,506	857,377
たな卸資産の増減額(は増加)	244,437	228,714
仕入債務の増減額(は減少)	1,002,191	839,017
未払消費税等の増減額(は減少)	16,330	17,792
その他	38,454	7,433
小計	1,150,607	1,084,091
利息及び配当金の受取額	3,030	3,421
利息の支払額	44,313	32,244
役員退職慰労金の支払額	-	269,255
補償金の受取額	16,413	-
法人税等の支払額	296,122	369,887
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>829,614</b>	<b>416,125</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	127	109
有形固定資産の取得による支出	21,458	39,711
無形固定資産の取得による支出	2,880	1,202
投資有価証券の取得による支出	1,223	1,402
貸付金の回収による収入	1,131	1,904
保険積立金の解約による収入	38,332	-
その他の収入	404	-
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>14,177</b>	<b>40,520</b>

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	100,000	490,000
長期借入金の返済による支出	493,919	505,000
自己株式の取得による支出	61	441
配当金の支払額	117,968	148,214
リース債務の返済による支出	36,879	36,398
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>748,828</b>	<b>1,180,054</b>
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	94,964	804,449
現金及び現金同等物の期首残高	2,430,208	2,721,581
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,525,172	1,917,131

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	卸売事業	小売事業	不動産事業	足場レンタル 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	5,421,978	8,567,387	119,801	268,487	14,377,655
セグメント間の内部売上高 又は振替高	374,377	3,770	12,344	—	390,491
計	5,796,356	8,571,158	132,145	268,487	14,768,147
セグメント利益	520,347	382,186	63,476	44,022	1,010,032

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額  
及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,010,032
セグメント間取引消去	△3,425
全社費用(注)	△193,429
四半期連結損益計算書の営業利益	813,177

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	卸売事業	小売事業	不動産事業	足場レンタル 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	5,918,032	8,295,274	103,849	295,365	14,612,521
セグメント間の内部売上高 又は振替高	333,547	5,458	11,328	—	350,333
計	6,251,580	8,300,733	115,177	295,365	14,962,854
セグメント利益	582,172	517,382	65,587	48,233	1,213,376

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額  
及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,213,376
セグメント間取引消去	2,952
全社費用（注）	△191,919
四半期連結損益計算書の営業利益	1,024,409

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。